

事業年報

平成26年度

千葉県野田健康福祉センター
(千葉県野田保健所)

千葉県野田市柳沢24

TEL 04-7124-8155

FAX 04-7124-2878

はじめに

平成26年から平成27年にかけての一年間は、県民の皆様にとって、海外からの感染症の脅威を改めて実感する年だったのではないのでしょうか。まずは蚊媒介感染症・デング熱が国内で多発しました。第一種感染症であるエボラ・ウイルス疾患（EVD）が西アフリカで流行し、そのウイルスは大陸間を移動しました。そして隣国・韓国でのMERS院内感染反復は、MERSも対岸の火事ではないという事実を私達に付きました。

幸いにして、平成27年のデング熱国内発生はなく、またEVD、MERSも一例も日本に上陸することなく今年10月を迎えています。「幸いにして」とは申し上げましたが、私はこの結果が、ただ運を天に任せて得られたとは思っていません。県民は蚊の発生しにくい地域作りに協力し合い、医療・消防・保健従事者は、EVD、MERS発生を前提とした真剣な訓練を行いました。「天は自ら助くる者を助く」と申します。幸いな結果とは、皆が努力し、協力し合って勝ち得た結果と私は確信しています。

しかし、今年9月に襲来した台風18号は、保健所の役割が感染症対策だけでは濟まないということを改めて認識させました。私達の身近で鬼怒川堤防が決壊し、甚大な人的、物的被害をもたらしました。野田市と境界を接する常総市では、現在も避難所暮らしを余儀なくされている住民がいらっしゃいます。野田保健所の災害時公衆衛生活動の準備性は十分と言えるのか、自問自答を重ねているところです。

今年も野田健康福祉センター（野田保健所）の事業年報をお届けする季節を迎えました。私達が自分の活動目標をこの程度で良いと決めてしまえば、管内の公衆衛生活動レベルがそれを超えることはありません。私達が独善に陥らぬよう、皆さまから叱咤、激励を頂くことを願って、この年報を発行しております。平成27年1月から耐震工事を終えた野田市柳沢の庁舎で業務を開始しました。この庁舎がいざという時の安心・安全の拠点となれるよう、皆様からご指導、ご鞭撻を頂くことをお願いして、私からのご挨拶とさせていただきます。

平成27年10月

千葉県野田健康福祉センター長（野田保健所長）

坂本 泰啓

目 次

総 括

1 沿 革	2
2 概 要	2
3 管内の状況	2
4 歴代所長	5
5 保健所健康相談等	5
6 各種委員会	6
7 機構並びに事務内容	7

総 務 企 画 課

総務企画課業務概要	10
1 庶務業務	12
2 医務業務	14
3 薬務業務	16
4 献血推進事業	19
5 地域保健医療計画の推進	19
6 保健・医療・福祉に関する総合相談	20
7 情報収集・整理・活用	20
8 協議会・委員会等の開催状況	23
9 地域保健従事者研修・保健所実習	23
10 広報・啓発事業	23
11 地域防災対策	25

地域保健福祉課

地域保健福祉課業務概要	28
1 保健師関係指導事業	30
2 母子保健事業	31
3 成人・老人保健事業	34
4 一人ひとりに応じた健康支援事業	35
5 地域・職域連携推進事業	36
6 栄養改善事業	37
7 歯科保健事業	42

8 精神保健福祉事業	43
9 総合的な自殺対策推進事業	48
10 民生委員・児童委員に関すること	48
11 ひとり親家庭等福祉に関すること	49
12 児童福祉に関すること	49
13 高齢者福祉に関すること	50
14 障害児・者福祉に関すること	50
15 戦傷病者の援護に関すること	51
16 中核地域生活支援センター事業	52
17 配偶者暴力相談支援事業	52
18 生活保護法に関すること	52
19 市との連携・協力	53

健康生活支援課

健康生活支援課業務概要	56
1 結核予防事業	59
2 感染症予防事業	64
3 エイズ予防事業	70
4 難病対策事業	72
5 原爆被爆者対策事業	83
6 肝炎対策事業	84
7 食品衛生事業	86
8 狂犬病予防事業及び動物愛護管理事業	93
9 環境衛生事業	96
10 検査業務	100

地域資料

1 保健施設設置状況	104
2 学会・研究会における発表一覧	104
3 表彰関係一覧表	105
4 管内の統計	106
5 野田健康福祉センターだより(4ページ)	110

凡 例

- 1 各表、図は、年とあるものは1月～12月までの歴年、年度とあるものは、4月～翌年3月までの会計年度である。
- 2 各表中、年号表示のない資料は、平成26年度分(平成26年4月1日～平成27年3月31日)。
- 3 各表の数字は、単位未満を四捨五入してある。したがって合計表と内訳が一致しない場合がある。
- 4 各表の符号は、特にことわりのないほかは次のとおりである。

「0」	掲載単位に満たないもの	「—」	該当なし
「…」	事実不詳又は資料なし	「△」	減少を示す
「r」	既発表の数字を訂正したもの	「・」	統計項目のありえない場合